

令和3年度・第4回会報

第22回

令和4年3月18日

30年中間貯蔵施設地権者会 会長 門馬 好春

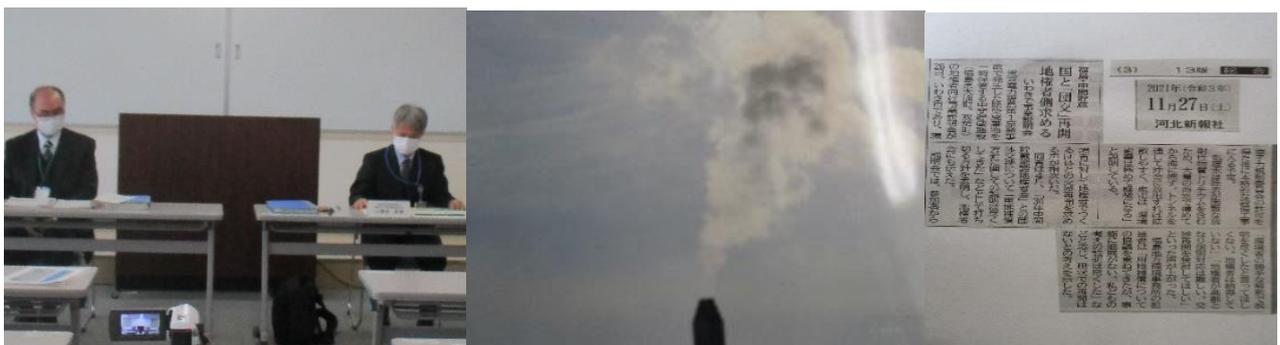
前のご報告以降の主な活動内容を第22回会報としてお届けさせていただきました。

会員の皆さまにはオミクロン禍のなか、先ずはご家族を含めて、お身体を大切にしてくださいませよう、よろしくお願ひ申し上げます。

1.【第9回環境省説明会】

コロナが一時落ち着きました昨年11月26日にいわき市文化センターで開催いたしました。会員の皆さまから環境省に対する多くの意見・要求・質問等が出されました。内容は県外最終処分場選定への早期着手要求やクリーンセンターふたばの事前説明会のない進め方への改善要求さらに暴走トラックの再発防止、焼却設備から出る黒鉛は水蒸気ではないなど多岐にわたりました。また地上権価格の間違ひの具体的な指摘について環境省は回答できず崩壊状態でした。同意見等12月13日にまとめた文書を環境省に送付、2月10日に回答文書が届きました。(当会 HP に掲載)

〈小野寺(右)齊藤(左)調整官〉 〈焼却設備からの黒煙〉 〈河北新報記事〉



2.【団体交渉実施への活動】

環境省からの一方的な電話での打ち切り通告について、会員内外の皆さまから引き続き当会に対して多くのご支援の声を頂いております。感謝申し上げます。

環境省回答書は交渉拒否ですが、その理由はまったく誤りです。引き続き再開を求めてまいります。その間は門馬会長の個人交渉「昨年11月団体と同じ内容で実施」や説明会等で中間貯蔵施設の課題や問題点の改善、見直しを求めてまいります。

3.【環境省の情報隠しを考証館 furusato 意見交換会で報告】

昨年10月の情報開示請求に基づいた土地使用補償基準書は件名のみ1枚であとは下の写真のとおり黒塗りでした。作成年月日も環境省の名前もありません。

昨年11月28日の原子力災害考証館 furusato の意見交換会等のイベントで皆さまにご覧顶きましたが、環境省の情報隠しに参加した皆さまが驚いておりました。

〈土地使用補償基準書〉 〈考証館意見交換会門馬会長隣信州大茅野先生〉〈月刊むすぶ1月号〉



4.【懲戒請求】

地上権価格を鑑定評価した日本不動産研究所に対する一昨年11月日本不動産鑑定士連合会に提出した懲戒請求については昨年11月綱紀・懲戒委員会により調査

を進めているとの連絡が入りました。今後も同連合会に新年度の新たな不動産鑑定評価書など証憑の追加提出を含めて懲戒請求の提出を進めてまいります。

5.【中間貯蔵施設の環境安全委員会】

作本副会長が双葉町町会議員の委員として昨年3月の19回委員会で提案していた同委員会の動画同時配信等につきましては、昨年12月の21回「中間貯蔵施設内で発生した漏水事案(事故報告の大幅な遅れ)について」から実施されました。

これにより、より多くの皆さまに中間貯蔵施設への関心を持って頂けると思います。

今後、さらに多くの国民の皆さまに知って関心を持って頂けるよう、同委員会終了後の動画再生の視聴ができる配信について要望してまいりたいと思います。

6.【活動内容】

昨年の5月第180回ふくしま復興支援フォーラムで門馬会長が報告させて頂きました以降も同フォーラム「次回は3月29日で195回目」に参加させて頂いております。

昨年11月28日は門馬会長、作本副会長、門馬顧問が原子力災害考証館 furusato の意見交換会に出席、この事業の課題と問題点について報告をさせて頂きました。

また、同日は門馬会長が同事業の課題と問題点について日本環境会議の原発事故被害損害研究会で報告(ズーム)させて頂きました。

7.【お知らせ】

(1)ふくしま復興支援フォーラム事務局の鈴木浩福島大学名誉教授が昨年12月著書「福島原発災害 10年を経て」を出版し当会活動を支援した紹介をして頂きました。

(2)吉原直樹東北大学名誉教授が昨年3月震災復興の地域社会学大熊町の10年を出版され、当会の活動を地域専門知として支援した紹介をして頂きました。

(3)1月15日門馬会長と吉原直樹先生との対談(ズーム)が、2月号の月刊むすぶに掲載されました。計3回(3・4月号)連載の予定です。

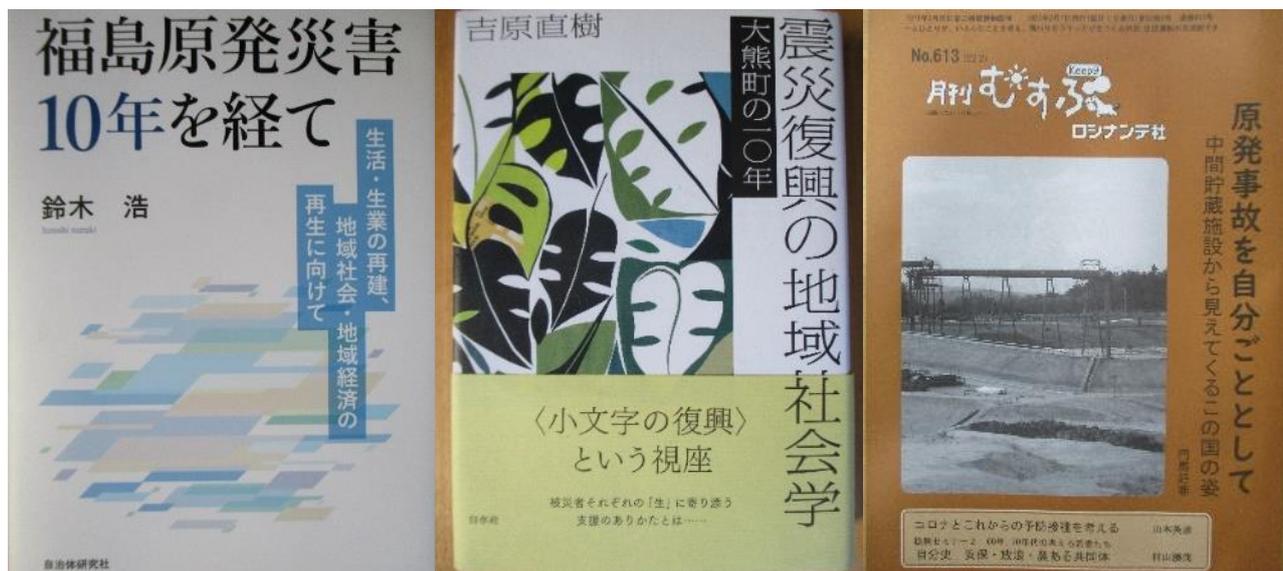
吉原先生の大局を見据えた的確な問いかけを受け中間貯蔵施設の課題と問題点について私がお話をさせて頂きました。

(4)今月発売された財界ふくしま4月号に門馬会長の特別寄稿「2045年のふるさとを守る」(熊本一規明治学院大学名誉教授のご意見付き)が掲載されています。

〈鈴木浩先生著書〉

〈吉原直樹先生著書〉

〈月刊むすぶ2月号〉



8. 【原子力災害考証館での展示】

中間貯蔵施設の課題と問題点を多くの方に知っていただくため来月4月中旬予定でいわき市湯本の古滝屋ホテル9階原子力災害考証館 furusato に於いて当会の活動内容等を展示させて頂くことになりました。皆さまよろしくお願いいいたします。

9.【当会のホームページ】

昨年7月25日当会のホームページを開設致しました。

開設からおかげさまで多くの方にご覧頂いております。開設後も同ホームページ内容の充実化を図っております。パソコン・スマホ等により手軽にご覧頂けます。また、本会報等で掲載した内容等も含めております。

会員の皆さまにもよろしく願いたします。

アドレスは『 <https://30nenchikensya.org/> 』ですが『会名・30年地権者会』等からも同ホームページをご覧いただけます。

10.【お願いとご連絡】

※会員の皆さま、当会のホームページの拡散をよろしく願いたします。

※熊本一規明治学院大学名誉教授のHPに当会活動等が紹介されております。

先生のURLは <http://kumamoto84.net/>です。

「熊本一規（クマモトカズキ）」からも先生のHPに入ることができます。

※門馬会長はフェイスブックに「門馬好春」で登録しております。

※お問い合わせ等は、原則電子媒体（メール等）で願致します。

（問い合わせ先：30年中間貯蔵施設地権者会 事務局長 門馬好春）

PC メール mommayoshiharu@gmail.com 携帯電話 090-3533-5515